



# 会社説明会

しちじゅうしち  
**77** BANK **七十七銀行**

証券コード：8341

2022年12月7日

1. プロフィール	...	2
2. 中間決算概要	...	8
3. 事業戦略	...	15
4. サステナビリティ	...	37

# 01 | プロフィール

名 称	株式会社七十七銀行 <small>しちじゅうしち</small>
本店所在地	宮城県仙台市
創 業	1878年（明治11年）12月9日
資 本 金	246 億円
従 業 員 数	2,673人
店 舗 数	144（本支店138、出張所6）
自己資本比率	10.22%（国内基準・連結）
総 資 産	10兆550億円
預金・譲渡性預金	8兆7,793億円 <small>（地銀9位）</small>
貸 出 金	5兆4,574億円 <small>（地銀12位）</small>
預り資産残高	6,739億円
格 付 け	JCR : AA、R&I : A、Moody's : A3 <small>（2022年11月末時点）</small>

## 宮城県のポテンシャル

	(単位)	宮 城 県	(参考) 東北地域合計
総 面 積	(km <sup>2</sup> )	7, 2 8 2	6 6, 9 4 8
人 口	(千人)	2, 2 6 8	8, 5 7 2
世 帯 数	(千世帯)	1, 0 2 3	3, 7 9 0
県内総生産（名目）	(億円)	9 5, 1 2 3	3 4 3, 2 8 2
民 営 事 業 者 数	(事業者)	1 0 2, 0 2 6	4 1 4, 6 5 7
製 造 品 出 荷 額 等	(億円)	4 5, 3 3 6	1 8 1, 0 7 6

## 地域開発プロジェクト

## せんだい都心再構築プロジェクト

- 老朽建築物の建替えと企業立地の促進



画像出所：仙台市

※出典：「2022みやぎのすがた（宮城県勢要覧）」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「東北経済のポイント」

## 次世代放射光施設（2024年度運用開始）

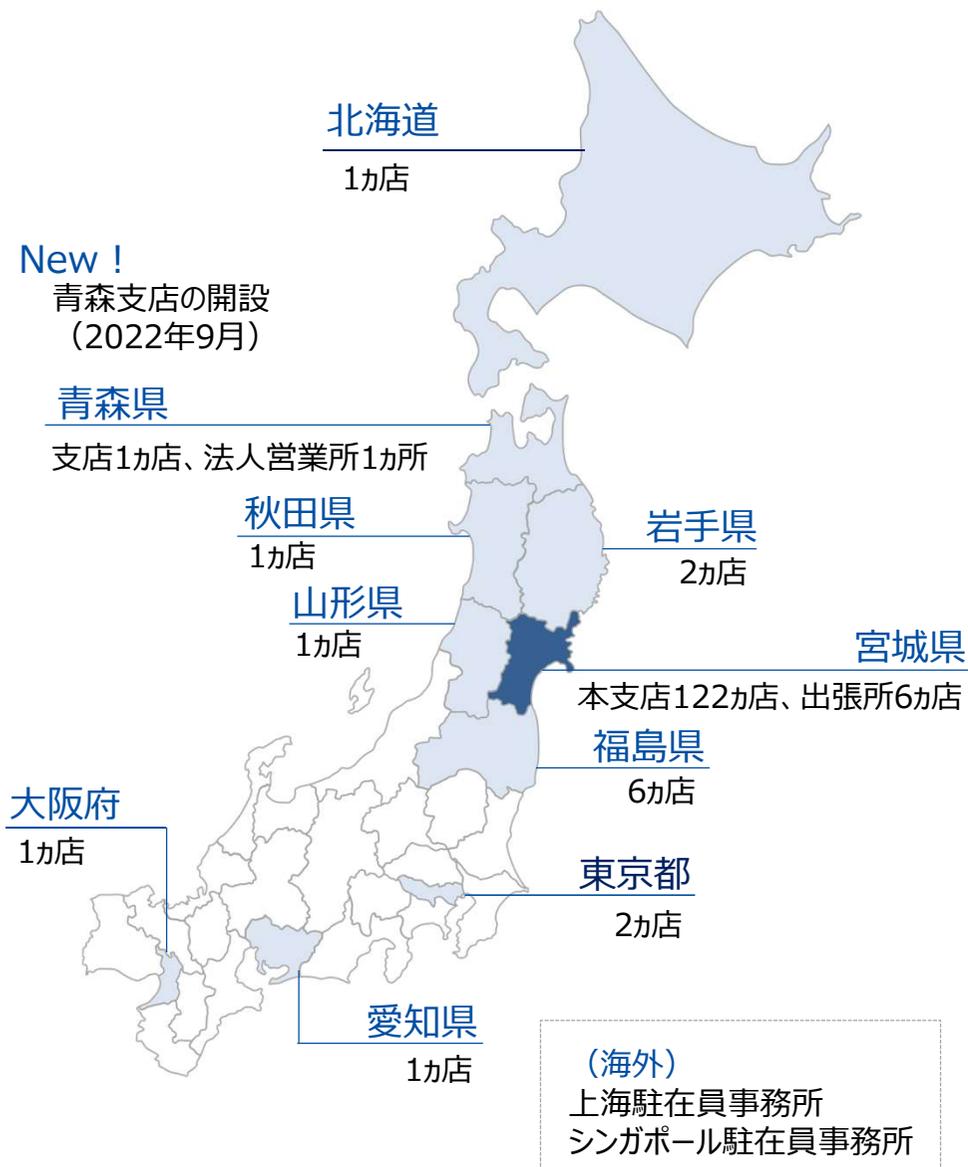
- 日本における研究開発の質を向上（ナノまで見える巨大な顕微鏡）



画像出所：（一財）光科学イノベーションセンター

## 店舗ネットワーク

(2022年11月30日時点)



## グループ会社

- 七十七リース（リース業務）
- 七十七信用保証（信用保証業務）
- 七十七カード（クレジットカード業務）
- 七十七キャピタル（ファンド運營業務・投資業務）
- 七十七証券（金融商品取引業務）
- 七十七リサーチ&コンサルティング  
(調査研究・コンサルティング業務)
- 2021年12月設立 七十七パートナーズ  
(ファンド運營業務・投資業務)
- New !**  
2022年8月設立 七十七ヒューマンデザイン  
(人材紹介業務・人材教育研修機会の提供等)

## 東日本大震災に関連した対応

当行では、震災による影響から、2011年3月期には、店舗等の被災に加え、追加与信関係費用を550億円計上したため戦後初となる赤字（306億円）となりましたが、社会的インフラとして地域における金融機能の維持を図る観点から顧客ニーズに寄り添った対応を実施

### 積極的な資金供給（震災後～2022年9月末累計）

（単位：件、億円）

	事業性貸出			消費性（個人向け）貸出			全体
	運転資金	設備資金	①合計	無担保ローン	住宅ローン	②合計	合計(①+②)
件数	6,148	2,686	8,834	4,468	14,458	18,926	27,760
金額	2,816	1,769	4,585	77	3,176	3,253	7,838

### 小口現金払の実施

震災発生翌日より、通帳・印鑑・身分証明書がなくても窓口で現金10万円までの小口現金払（約39千件/約31億円）の対応を実施。

### 公的資金の活用（2015年6月返済）

国と一体となって地域復興に最大限の支援を行うため、2011年12月に公的資金200億円を劣後ローンで導入。

## 渋沢栄一とのつながり

「日本の資本主義の父」と呼ばれた実業家の渋沢栄一は、当行の設立に大きく貢献した人物であり、渋沢翁の「道徳経済合一」の精神は当行の行是に今も息づいている



渋沢 栄一氏（写真：深谷市所蔵）

1840年(天保11年)～1931年(昭和6年)  
武蔵国榛沢郡血洗島村(現在の埼玉県深谷市)生まれ。  
当行の設立に際し、銀行業の本質や経営の基本的な  
考え方を助言。



当行の経営理念を記した「行是」の「銀行の発展は地域社会の繁栄とともに」の一節に、渋沢栄一の「道徳経済合一」の精神が今も息づいています。

### 行 是

- 一. 奉仕の精神の高揚  
銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。
- 一. 信用の向上  
銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。
- 一. 和協の精神の涵養  
和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。

## ■ 渋沢栄一からの書簡 (七十七銀行金融資料館に展示)



・1876年の「国立銀行条例」の改正により、全国的に国立銀行の設立熱が高まりました。渋沢栄一は、急激な銀行設立の動きを警戒し、この書簡で、国立銀行の設立を志望するものに対し、銀行業の本質や経営の基本的な考えを論じ、安易な銀行設立に忠告を与えています。

# 02

## 中間決算概要

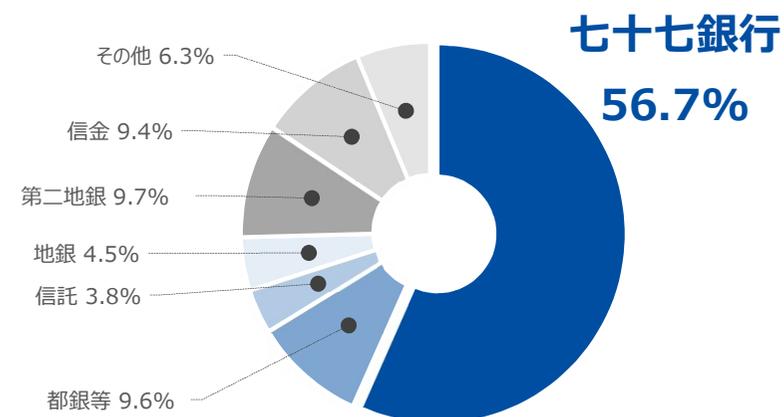
## 2. 中間決算概要（損益概況）

損益概況（単体） (単位：億円、%)	2021年度	2022年度	前年同期比		2021年度	2022年度	2023年度
	中間期	中間期	増減額	増減率	実績	予想	シミュレーション
業 務 粗 利 益	385	426	41	10.6	758	783	812
[ コ ア 業 務 粗 利 益 ]	[ 444 ]	[ 444 ]	[ 0 ]	[ ▲ 0.1 ]	[ 846 ]	[ 843 ]	[ 828 ]
資 金 利 益	377	390	13	3.4	723	780	832
役 務 取 引 等 利 益	64	63	▲ 1	▲ 1.4	118	116	115
そ の 他 業 務 利 益	▲ 56	▲ 27	29		▲ 83	▲ 113	▲ 135
経 費	248	235	▲ 13	▲ 5.2	493	490	491
[ コ ア 業 務 純 益 ]	[ 196 ]	[ 209 ]	[ 13 ]	[ 6.3 ]	[ 353 ]	[ 353 ]	[ 337 ]
経 常 利 益	175	195	20	11.2	305	325	335
中 間 ( 当 期 ) 純 利 益	118	130	12	10.1	208	220	230
与 信 関 係 費 用	24	26	2		46	30	25
損益概況（連結）							
経 常 利 益	184	198	14	7.4	330	340	355
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益	122	130	8	6.4	222	225	240

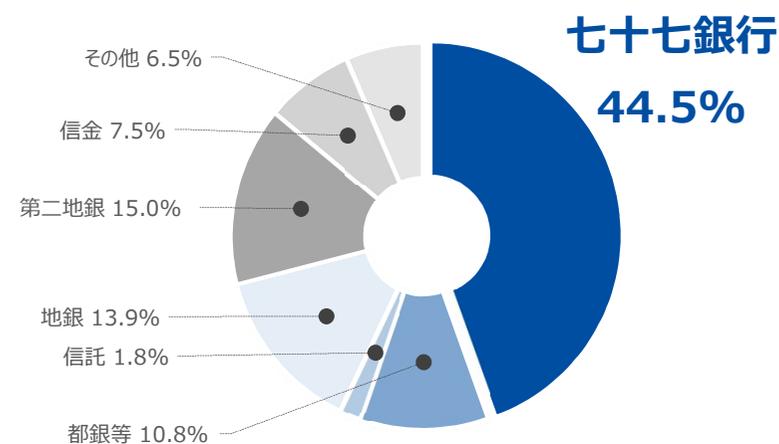
(単位：億円、%)	2021年度	2022年度	前年同期比	
	中間期	中間期	増減額	増減率
預金+譲渡性預金（平残）	86,369	<b>88,643</b>	2,274	2.6
うち個人預金	55,938	<b>58,382</b>	2,444	4.3
うち法人預金	22,076	<b>22,012</b>	▲64	▲0.2
うち公金預金	8,100	<b>7,996</b>	▲104	▲1.2

(単位：億円、%)	2021年度	2022年度	前年同期比	
	中間期	中間期	増減額	増減率
貸出金（平残）	50,716	<b>53,466</b>	2,750	5.4
事業性貸出	31,915	<b>34,396</b>	2,481	7.7
消費者ローン	12,217	<b>12,670</b>	453	3.7
地公体等向け	6,584	<b>6,400</b>	▲184	▲2.7

### 宮城県内預金シェア（2022年9月末）



### 宮城県内貸出金シェア（2022年9月末）



### 有価証券運用残高（償却原価ベース）

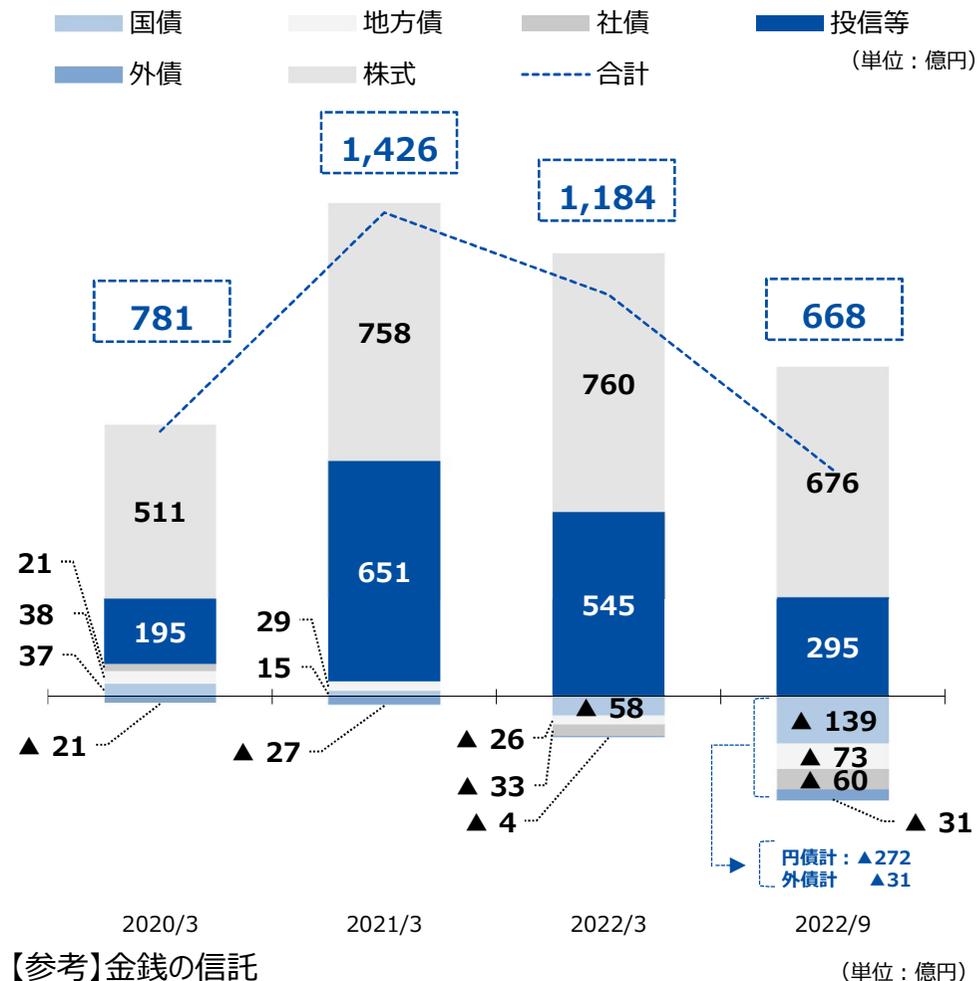
	2022年3月末	2022年9月末	2022年3月末比 増減額
(単位：億円)			
有価証券運用残高	30,134	<b>30,070</b>	▲ 64
国債	2,860	<b>2,911</b>	51
地方債	9,671	<b>9,645</b>	▲ 26
社債	9,438	<b>8,834</b>	▲ 604
投信等	6,105	<b>6,209</b>	104
外債	1,304	<b>1,712</b>	408
株式	756	<b>759</b>	3

(参考)  
修正デフレーション（2022年9月末）：円貨債券5.66、外貨外国債券0.62

### 外貨外国債券の推移（償却原価ベース）



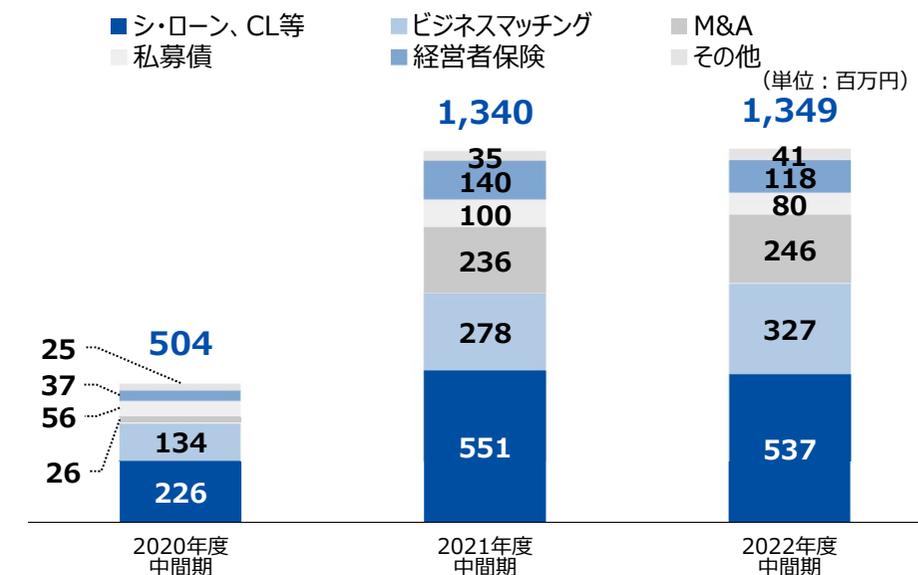
### 有価証券評価損益の推移



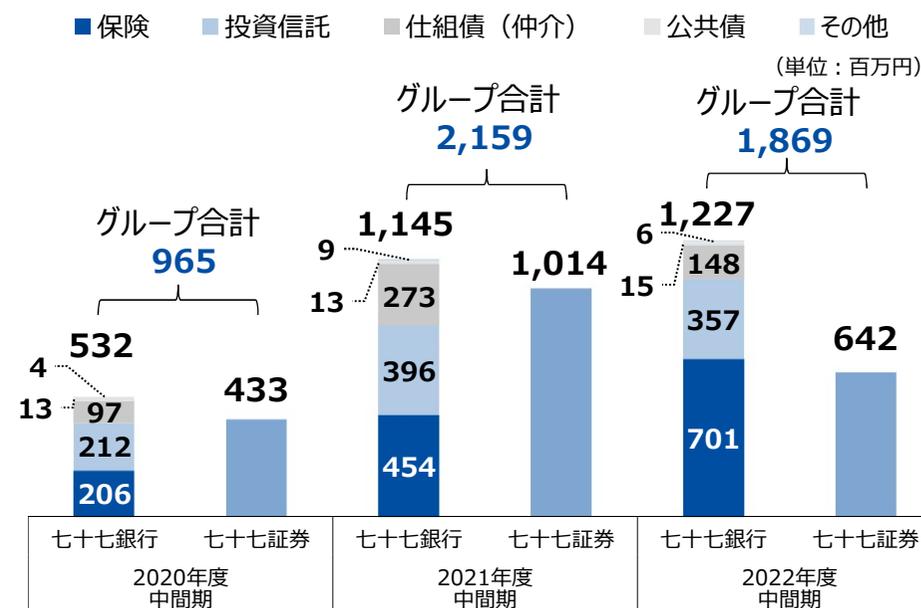
## 2. 中間決算概要（役務取引等利益）

(単位：百万円)	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年同期比 増減額
役務取引等収益 A	9,330	<b>9,241</b>	▲ 89
うち決済関連手数料	4,536	<b>4,100</b>	▲ 436
うち法人関連手数料	1,340	<b>1,349</b>	9
うち預り資産関連手数料	1,145	<b>1,227</b>	82
役務取引等費用 B	2,953	<b>2,957</b>	4
うち決済関連手数料	456	<b>206</b>	▲ 250
うちローン支払保証料・保険料	1,762	<b>1,956</b>	194
役務取引等利益（A-B）	6,377	<b>6,284</b>	▲ 93

### 法人関連手数料



### 預り資産関連手数料



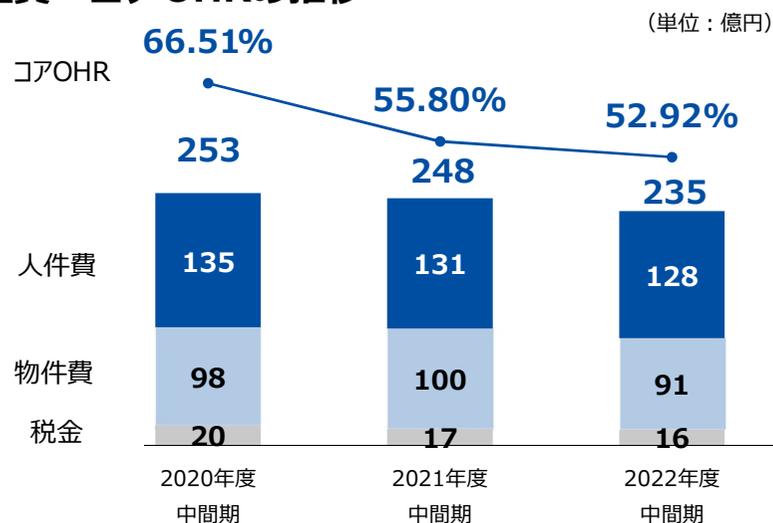
(単位：億円)		2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年同期比 増減額	
経	費	248	235	▲	13
人	件	131	128	▲	3
物	件	100	91	▲	9
税	金	17	16	▲	1

(単位：億円)	経費の主な増減要因	
人件費	行員数の減少等	▲ 3
物件費	預金保険料率の低下	▲ 6
	営業店端末更改による償却費の反動減	▲ 2

【参考】

2022年3月末までに実施した店舗内店舗による物件費削減効果  
年間削減額：500百万円

### 経費・コアOHRの推移



### 有人店舗数・ATM設置台数・平均人員数の推移

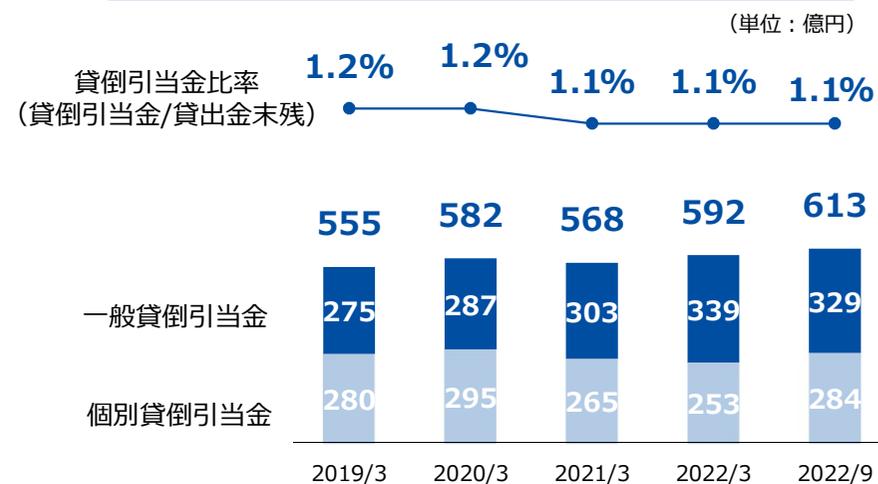
(単位：カ店、カ所、台、人)

	2020年度 (A)	2021年度 中間期	2021年度	2022年度 中間期(B)	(B)-(A)
有人店舗数（未残）	142	142	142	143	1
拠点数（未残）	130	127	123	120	▲ 10
店舗内店舗数（未残）	12	15	19	23	11
ATM設置台数（未残）	743	728	718	714	▲ 29
平均人員数（出向者除く）	2,732	2,708	2,659	2,602	▲ 130

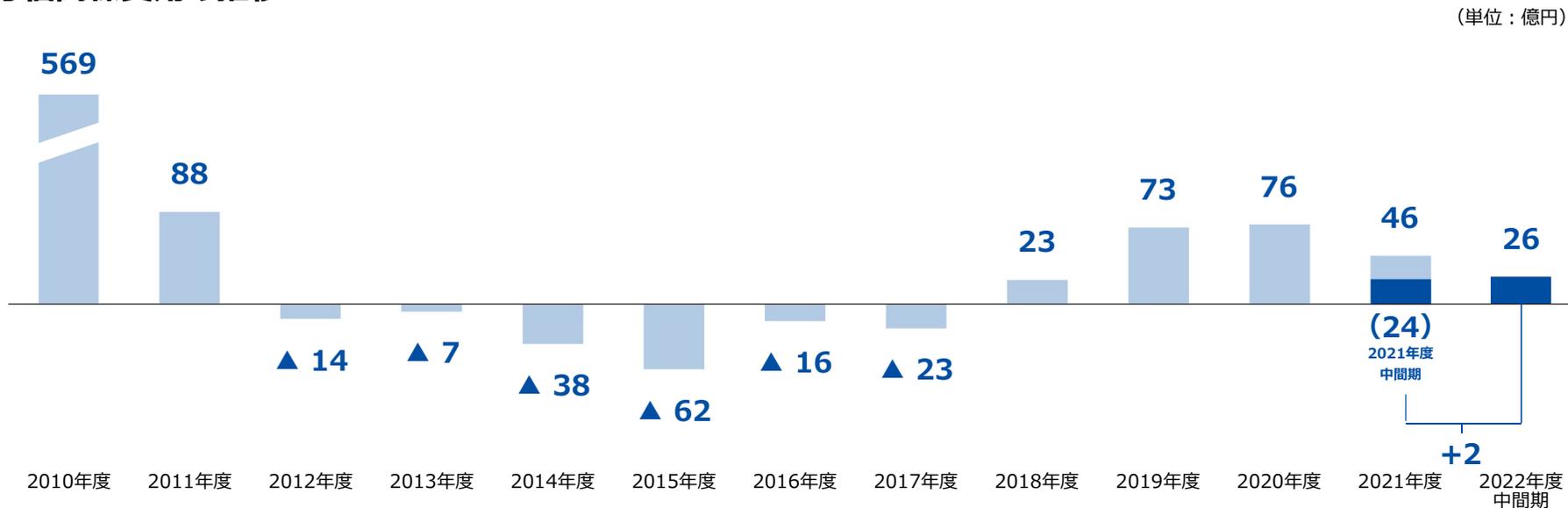
	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年同期比 増減額
与信関係費用（A+B-C）	24	26	2
一般貸倒引当金繰入額（A）	21	▲ 10 ▲	31
不良債権処理額（B）	3	36	33
貸倒引当金戻入等（C）	0	0	0

### 貸倒引当金

貸倒引当金比率の地方銀行平均：約0.7%  
（2022年3月現在、スルガ銀行除き）



### 与信関係費用の推移



# 03

## 事業戦略

七十七グループはどうなりたいのか？ その思いを新たな経営計画としました

新・経営計画

Vision  
2030

未来を切り拓くリーディングカンパニー

長期的に目指す  
「なりたい姿」

七十七グループは、地域社会の繁栄のため、  
最良のソリューションで感動と信頼を積み重ね、  
ステークホルダーとともに、宮城・東北から活躍のフィールドを切り拓いていく  
リーディングカンパニーを目指します

- ◆ 金融機能とコンサルティングを極めるとともに非金融分野における事業領域を拡大

金融

×

コンサルティング

+

非金融

→

最良のソリューション

- ◆ 宮城・仙台圏のポテンシャルと東北全域等の有力な顧客を結ぶネットワークを構築

宮城・仙台圏

×

東北全域等

→

活躍のフィールドの拡大

- ◆ リーディングカンパニー（同じ志を持った者の集団、地域をリードする企業グループ）へ深化

リーディングバンク

×

Vision 2030

→

リーディングカンパニー

「なりたい姿」を見据え、七十七グループの強みを伸ばし、弱みを改善し、組織を活性化していくことで、現状の延長線上ではない七十七グループに向かっていきます

顧客・地域のニーズを喚起する  
活躍のフィールドを拡げる

生産性を  
飛躍的に改善する

挑戦的な  
企業文化を確立する

**伸ばす!**



七十七グループの強み

顧客基盤  
コンサルティング体制  
顧客・地域からの信頼

**改善する!**



七十七グループの弱み

収益力(低収益体質)  
コスト意識(高コスト体質)  
他社との競争力

**確立する!**



活性化のポイント

チャレンジ意欲  
迅速性・柔軟性  
組織横断(縦・横・斜め)

キーファクター

現在の延長線上ではない、  
新たな未来を切り拓いていくためには、  
その実現に向けたエンジン  
(=キーファクター)が必要となります

デジタルトランス  
フォーメーション

新事業  
新分野

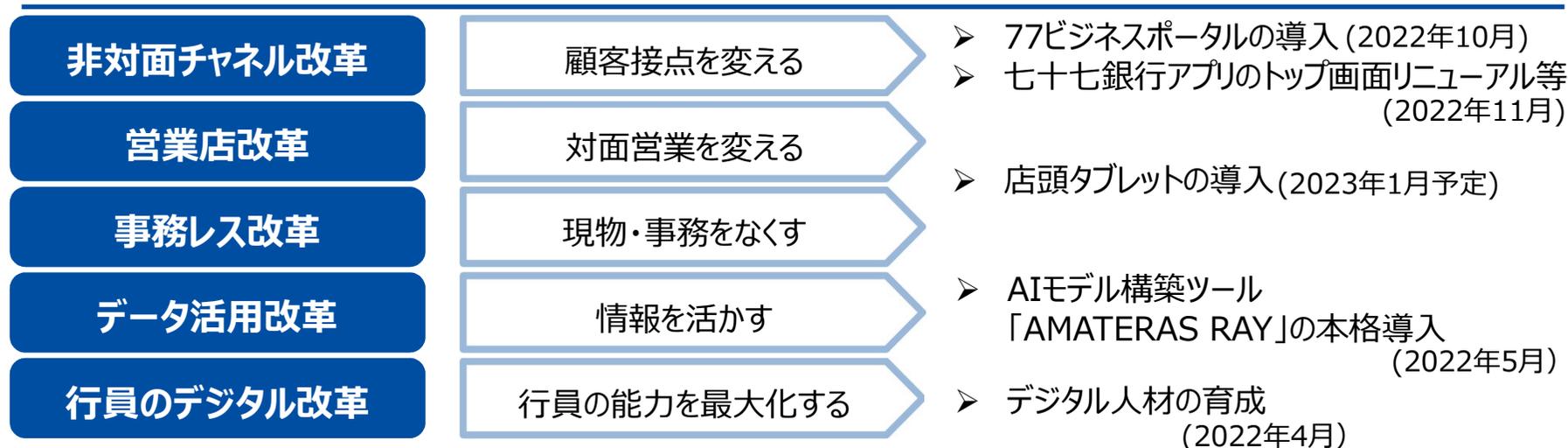
人材

財務基盤

### デジタルトランスフォーメーション（キーファクター）

「安心・安全」を最優先としつつ、コロナ禍で加速したデジタルトランスフォーメーションの流れを取り込み、多様化する顧客ニーズへの対応や異業種サービスとの連携、銀行業務全般の抜本的改革などを進めていく

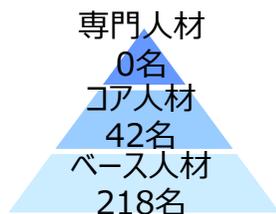
#### 銀行ビジネスのデジタル改革



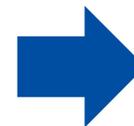
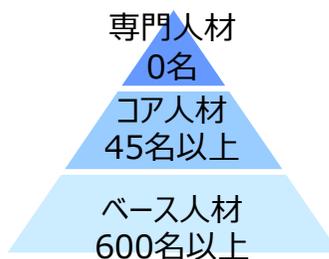
#### デジタル人材の育成

ITパスポート取得者数  
**369名**（2022年10月末時点）

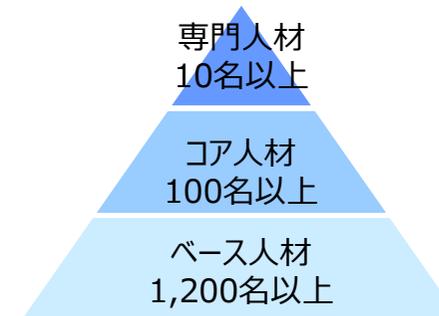
（2022年度中間期時点）



（2022年度目標）



（2024年度目標）



新事業・新分野（キーファクター）

七十七グループは、顧客と地域が抱える課題の解決にむけて新たな事業領域に進出し、銀行業を核としながら多様な事業を行うリーディングカンパニーを目指す

新事業・新分野の開拓

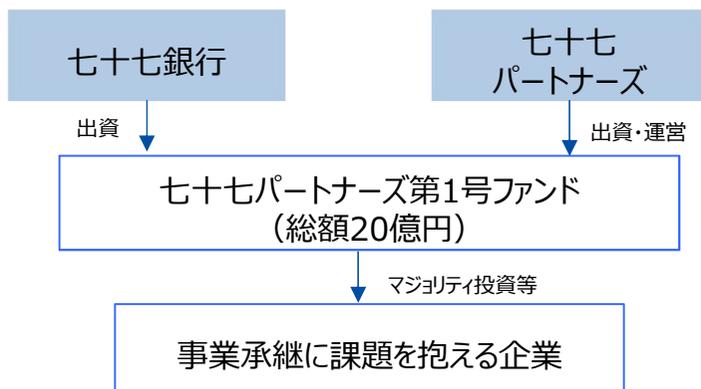
2021年12月設立

七十七パートナーズ

シチバトくん



- 「七十七パートナーズ第1号ファンド」の組成



2022年5月公表

信託業務への参入検討

- 代理店としての取扱いであった信託業務について、関係当局の認可取得を前提に参入を検討開始
- 「人生100年時代」におけるサポートメニューの充実・強化

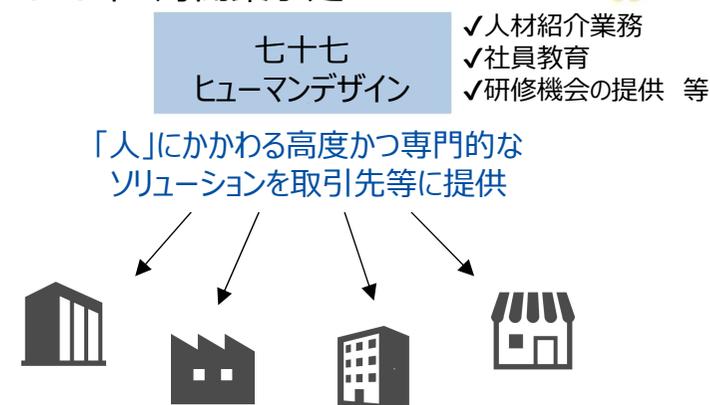
2022年8月設立

七十七ヒューマンデザイン

シチネコちゃん



- 2023年1月開業予定



2022年11月公表

保有不動産の有効活用

- 建替え時期が到来した支店を共同住宅を併設した複合ビルへ建替え（2025年4月竣工予定）

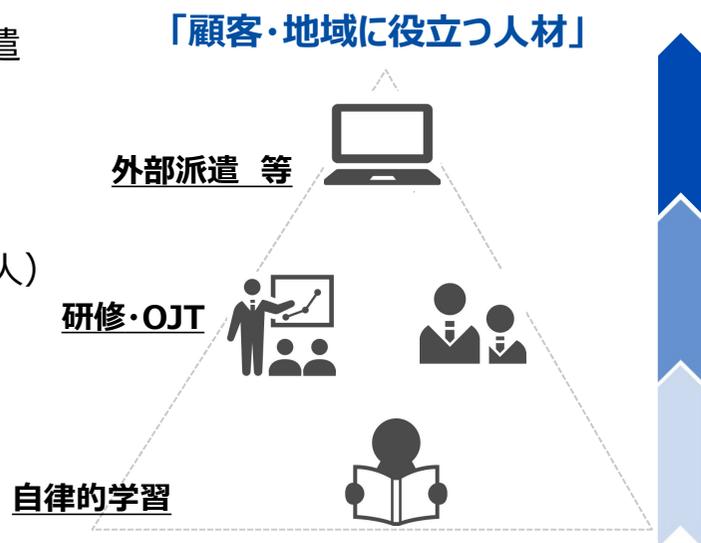


人材（キーファクター）

一人ひとりの適性を活かし、将来にわたって銀行の財産となる「顧客・地域に役立つ人材」と「企業変革に資する人材」を育成する

専門人材の育成

- 外部専門機関への継続的な派遣
- 地域開発人材育成プログラム
- コンサルティング力強化プログラム（法人・個人）

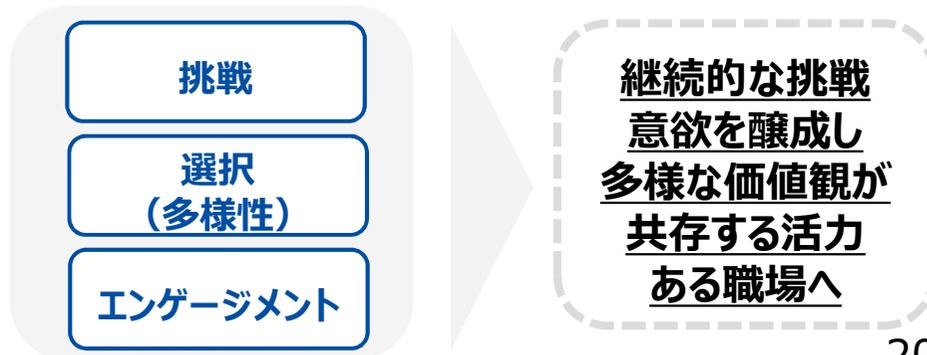


外部派遣者数  
26人  
(2021年度実績)

研修関連費用  
304百万円  
(2021年度実績)

挑戦的な企業文化の確立

- 人事制度の見直し（2023年4月実施予定）——● **人事制度改革に向けた3つの方向性**
- 管理職層のマネジメント力強化
- ダイバーシティ&インクルージョン意識啓蒙と浸透



## 財務基盤の強化（キーファクター）

	2021年度 実績	2022年度 中間期	2022年度 目標	2030年度 なりたい姿
当期純利益（連結） <small>（うち与信関係費用）</small>	222億円 <small>（46億円）</small>	<b>130億円</b> <small>（26億円）</small>	225億円 <small>（30億円）</small>	280億円 <small>（80億円）</small>
自己資本比率（連結）	10.27%	<b>10.22%</b>	11.11% <small>（バーゼルⅢ最終化基準）</small>	10%以上
コアOHR	58.22%	<b>52.92%</b>	58.07%	50%台

（参考：想定する2030年度のポートフォリオ）

貸出金	5.7兆円	預金+NCD	8.5兆円
有価証券	3兆円	グループ預り資産残高	1兆円

### 3. 事業戦略 (Vision 2030の進捗状況)

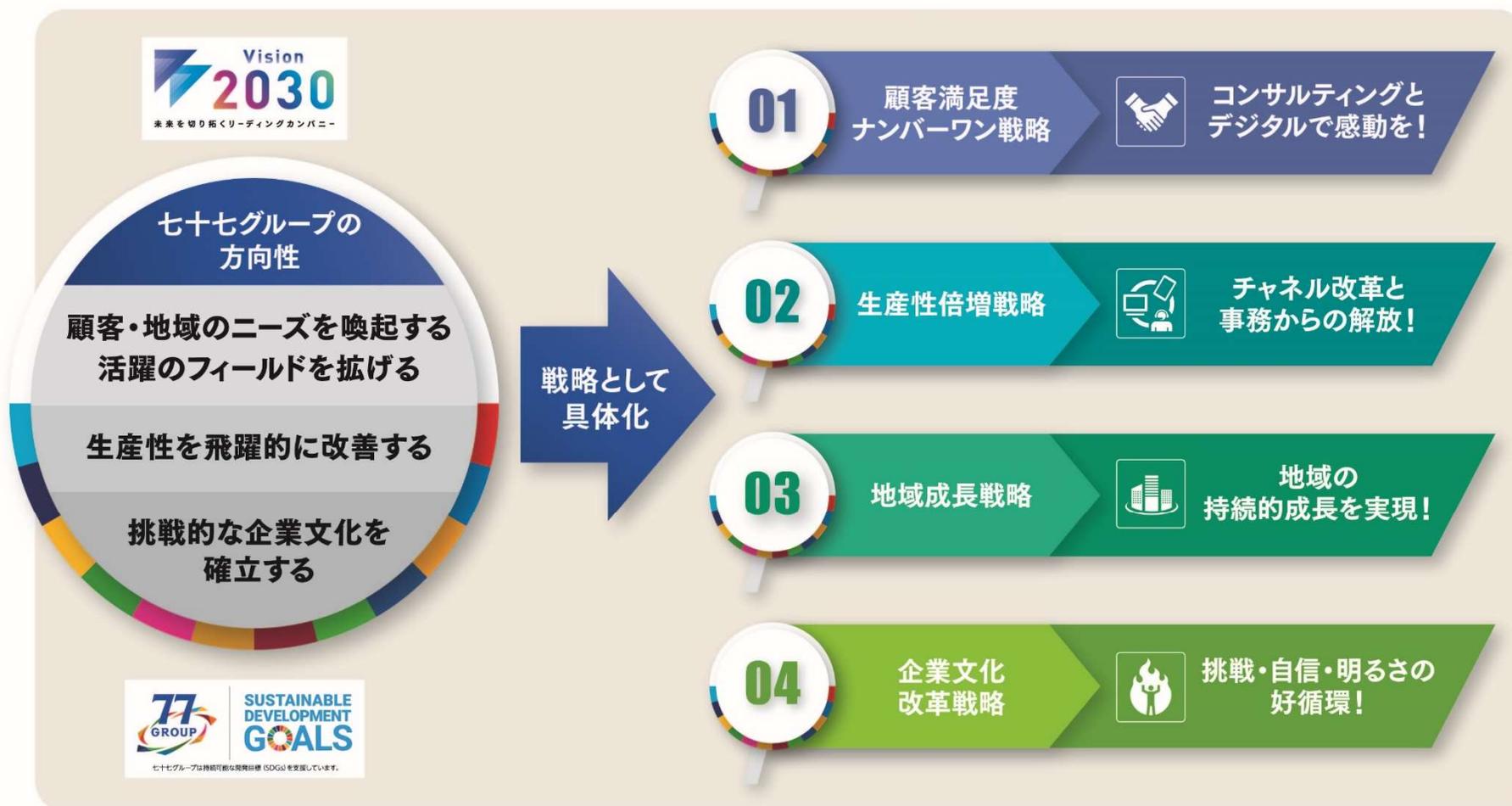
KPI (Let's Try!)	2021年度 実績	2022年度 中間期	2022年度 目標	2030年度 なりたい姿
宮城県内のメインバンク比率	56%	<b>56%</b>	57%	62%
宮城県外の法人貸出先数 (2020年度比)	1.07倍	<b>1.14倍</b>	1.13倍	1.5倍
宮城県内の預り資産保有世帯割合 <small>※1</small>	—	—	—	21%以上
宮城県内の当行ローン利用率	12.8%	<b>14.9%</b>	14.7%	20.0%
グループ会社の当期純利益	22億円	<b>7億円</b>	15億円	30億円
本業にかかる労働生産性	11百万円	<b>6百万円</b>	12百万円	16百万円
営業店事務量 (2019年度比)	▲15%	<b>▲23%</b>	▲25%	▲50%
非対面チャネル利用率	(法人) 13% (個人) 15%	<b>(法人) 14% (個人) 18%</b>	(法人) 15% (個人) 17%	(法人) 30% (個人) 30%
創業期の事業者に対する成長支援件数	1,490件	<b>879件</b>	1,550件	3,000件
CO <sub>2</sub> 排出量	10,331t-CO <sub>2</sub>	<b>4,491t-CO<sub>2</sub></b> <small>※2</small>	10,200t-CO <sub>2</sub>	9,069t-CO <sub>2</sub>
管理職に占める女性割合	14.2%	<b>15.0%</b>	15.0%	30.0%

その他項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新事業・新分野のプロジェクトを10件立ち上げる (2023年度までに実施) (2022年11月末時点:4件)</li> <li>◆宮城県における経済成長率の向上を支援する</li> <li>◆宮城県内における地域開発プロジェクトへの関与100%を目指す</li> <li>◆「チャレンジ精神の醸成」につながる様々な取組みを実施する</li> <li>◆顧客・地域に役立つ「専門性を有する人材」を増加させる</li> </ul>
-------	---

※ 1.全国消費実態調査

※ 2.2021年度の排出係数を用いて算出

「Vision 2030」では、地域経済の活性化やあらゆる人々の活躍推進といったSDGs宣言の趣旨を踏まえ、地域と七十七グループが持続的に成長していくための進むべき方向を描きます



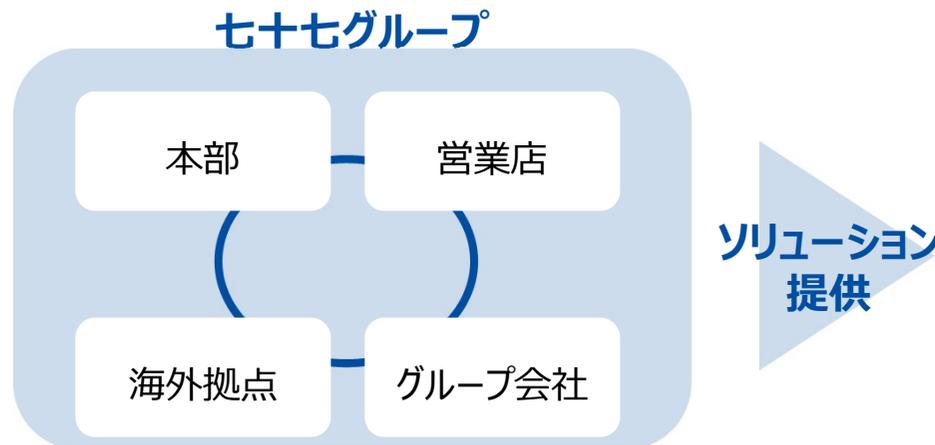
## 金融×コンサルティングの提供

顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

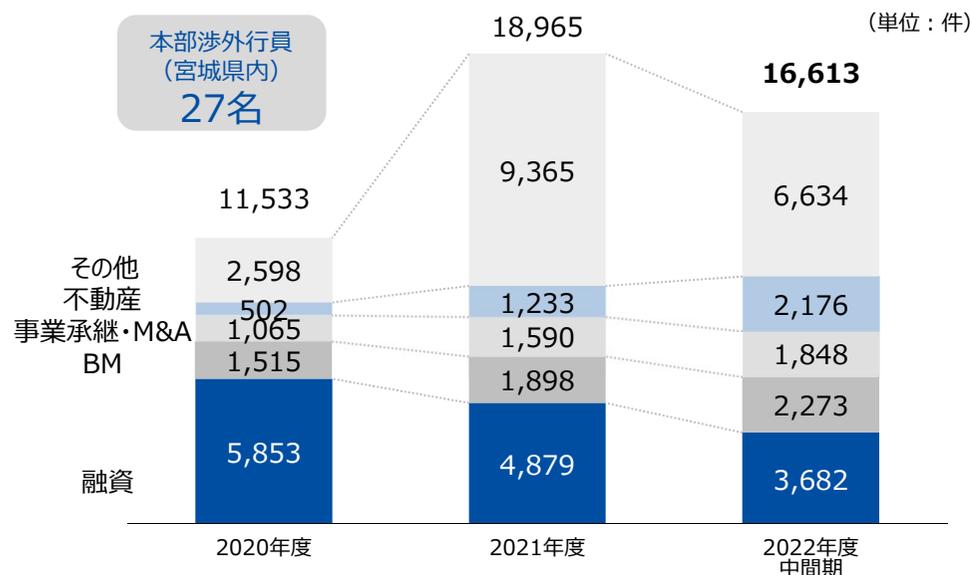


## 取引先が抱える課題



## コンサルティング営業の実施

宮城県内に駐在する本部渉外行員が実施した提案件数



## コンサルティング力強化に向けた取組み

行内研修受講者数（法人コンサルティング関連）



## KPI (Let's Try!)

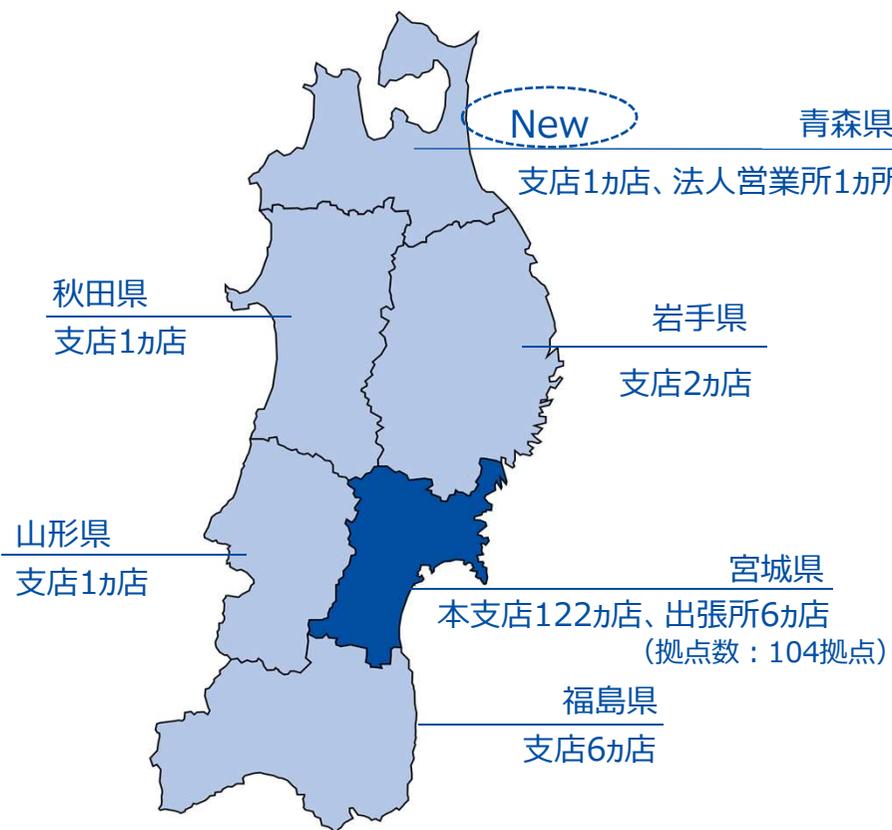
宮城県内のメインバンク比率（メインバンク動向調査）※(株)帝国データバンク調



## 東北地域等における営業推進強化

青森支店の開設（2022年9月5日開設）

- 東北6県すべてに支店を設置 （2022年11月30日時点）



#### その他地域

〈東北地域外 5か店〉  
 北海道 札幌支店  
 東京都 東京支店・日本橋支店  
 愛知県 名古屋支店  
 大阪府 大阪支店

〈海外〉  
 上海駐在員事務所  
 シンガポール駐在員事務所

顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

## 営業推進強化に向けた取組み

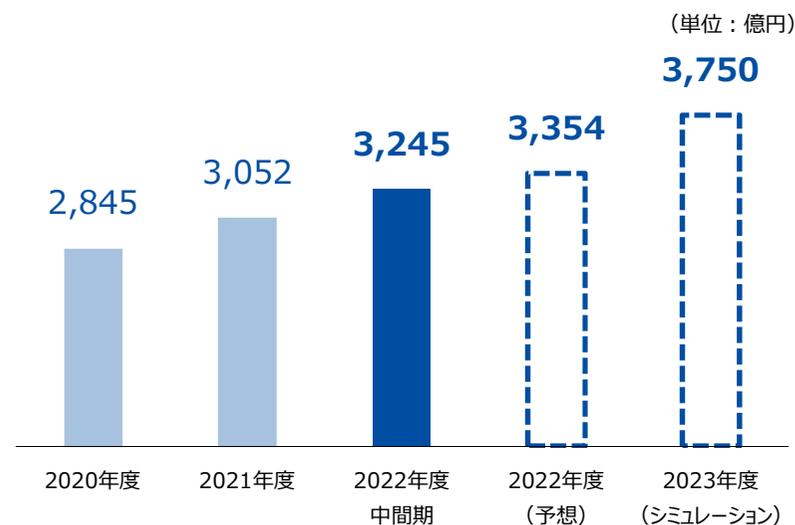
- 宮城県外の支店等に本部渉外行員を配置
- 顧客・情報ネットワークを活用した販路拡大支援
- 海外ビジネス支援体制の拡充

## KPI (Let's Try!)

宮城県外の法人貸出先数(2020年度比)



## 東北地域等（宮城県除）事業性貸出（円貨、平残）



顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

## 顧客のライフプランを踏まえた推進

### リテール営業の強化

- ウェルスマネジメント室による支援体制の強化
- 銀証連携の一層の深化
- 信託業務への参入検討
- ファンドラップの取扱開始（2023年1月）
- 専門人材の育成プログラム実施

### 住宅ローンの推進強化

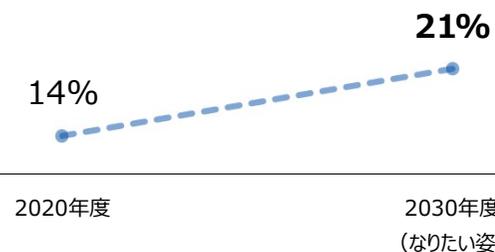
- 営業店・ローンセンター一体となった推進強化
- 新たな顧客の開拓に向けた商品の拡充
- 非対面取引の拡充検討

（参考）住宅ローン実行額の推移



### KPI (Let's Try!)

宮城県内の預り資産保有世帯割合



### 無担保ローンの推進強化

- WEBマーケティングの高度化
- コンタクトセンターによる顧客接点の拡充
- 取引先従業員向け専用サイトでの推進

### KPI (Let's Try!)

宮城県内の当行ローン利用率



顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

## デジタルの活用

### 非対面チャネルの拡充

- 「77ビジネスポータル」の導入 **東北地銀初!**  
(2022年10月)
  - 経営課題の解決に向けた  
情報発信・ソリューションの提供
  - さまざまな手続きをWEBにより  
ワンストップで利用可能
- 七十七銀行アプリのトップ画面  
リニューアル等のUI・UX改善  
(2022年11月)

「77ビジネスポータル」の  
主なサービス内容

口座情報表示サービス

法人IB各種機能

お知らせ配信サービス

外部連携サービス



### IB等の利用推移

法人IB契約先数（累計）

（単位：件）



個人IB契約先数・アプリDL数（累計）

（単位：千件）



七十七銀行 | 2022年度中間期

### （参考）金融に関連したデジタル化の進展

2022年  
10月

- 「こたら送金サービス」の開始
- 電子交換所の設立

2023年  
4月

- 地方税統一ORコードによる税公金の  
デジタル収納開始
- 給与のデジタル払い解禁
- 日本銀行がC B D C（中央銀行デジタル通貨）  
の発行に向けた実証実験を開始

2026年  
12月

- 全国手形交換所における手形・小切手  
の交換全廃（目標）

顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

## 事務プロセス削減・簡略化

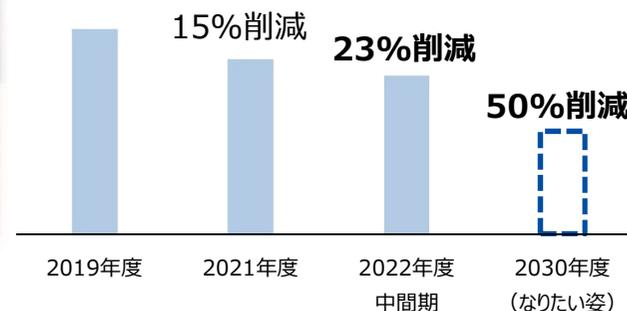
### 業務プロセスの改善

- 店頭タブレットの導入（2023年1月～）
- サポートオフィスの対象店拡大
- 融資事務の本部集中化
- 消費者ローン業務の本部集約化



### KPI (Let's Try!)

営業店事務量（2019年度比）

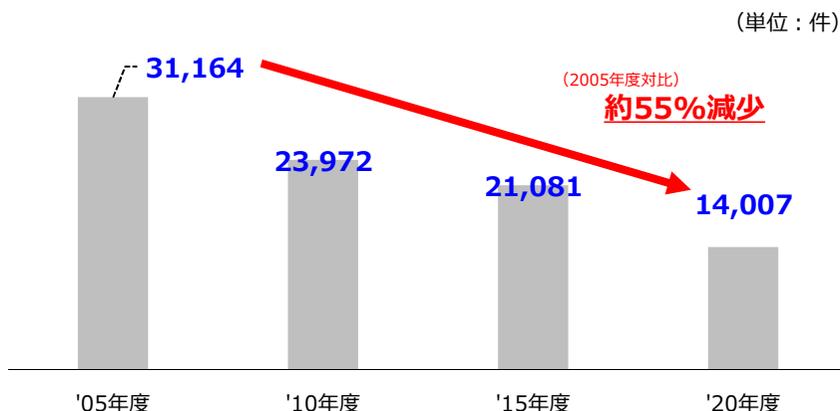


## 店舗戦略

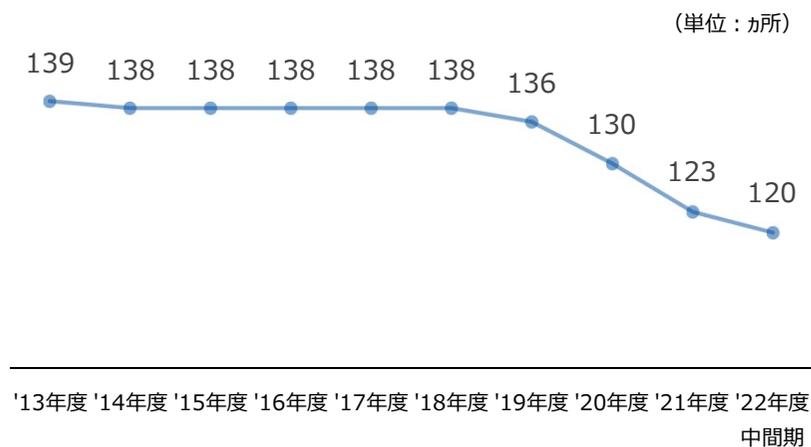
### 店舗ネットワークの見直し

- マーケットの特性や地域の実情を踏まえた拠点集約
- 共同住宅を併設した複合ビルへの建替え（荒町支店兼八木山支店）（2025年4月竣工予定）

宮城県内における窓口利用件数（1日平均）の推移



拠点数の推移



顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

## 生産性の向上に向けた取組み

経営資源のリバランス

事務レス・デジタル化の  
促進

店舗内店舗化による  
拠点網の最適化

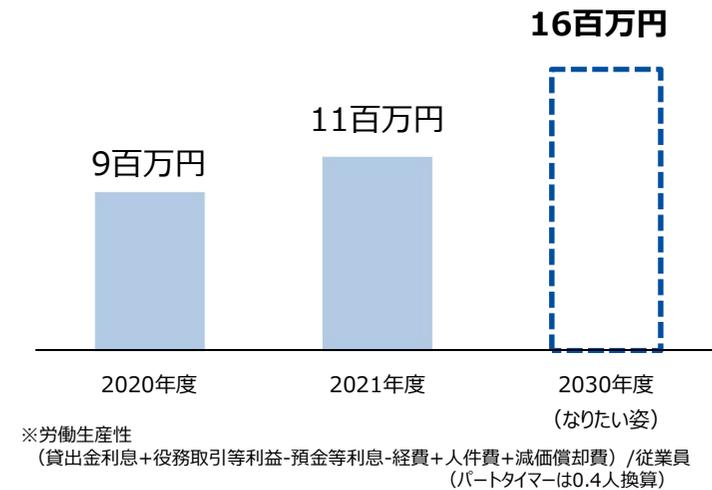
コンサルティング等の  
強化

店舗内店舗、  
事務レス等により  
創出した人員  
**222名**（2020年4月からの累計）

本部渉外人員の拡充  
外部トレーニー派遣等による  
専門人材の育成  
**68名**（2020年4月からの累計）

### KPI (Let's Try!)

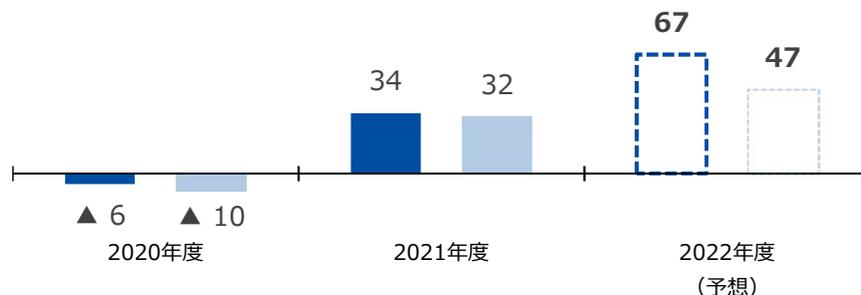
本業にかかる労働生産性※



### 顧客向けサービス業務利益※

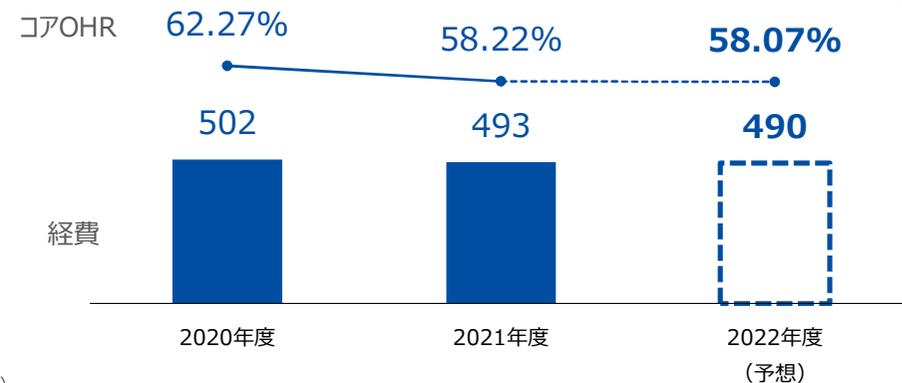
■ 顧客向けサービス業務利益

■ 顧客向けサービス業務利益 (外貨調達コスト控除後) (単位：億円)



### 経費およびコアOHRの推移

(単位：億円)



※顧客向けサービス業務利益 = (貸出金平残×預貸金利回り差)+役員取引等利益-経費 (退職給付費用含む)

#### 地域で輝く企業の成長支援

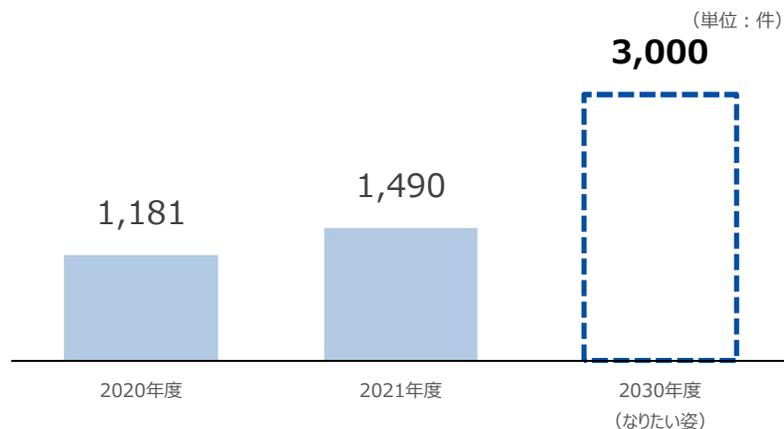
##### 創業・スタートアップ企業への支援メニューの拡充

- 77スタートアップメンバーズの創設
- 〈七十七〉スタートアップ・サポートデスクの設置
- 〈七十七〉創業応援パッケージの拡充



#### KPI (Let's Try!)

創業期の事業者に対する成長支援件数



顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

##### 地域中核企業の支援・育成

- 「経営改善アドバイザー」の新設
  - － 支店長経験者4名配置
- ものづくり企業の成長支援に向けた連携強化
  - － ものづくり産業振興に向けた  
アルプスアルパインとの連携協定締結
- DX支援に向けた連携強化
  - － NTT東日本の社員が「ITサポートデスク」や  
「地方創生推進デスク」に駐在



##### 産業・企業立地の支援強化

- 次世代放射光施設「ナノテラス」整備事業への参画



左：（一財）光科学イノベーションセンター 高田理事長  
右：小林頭取

顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

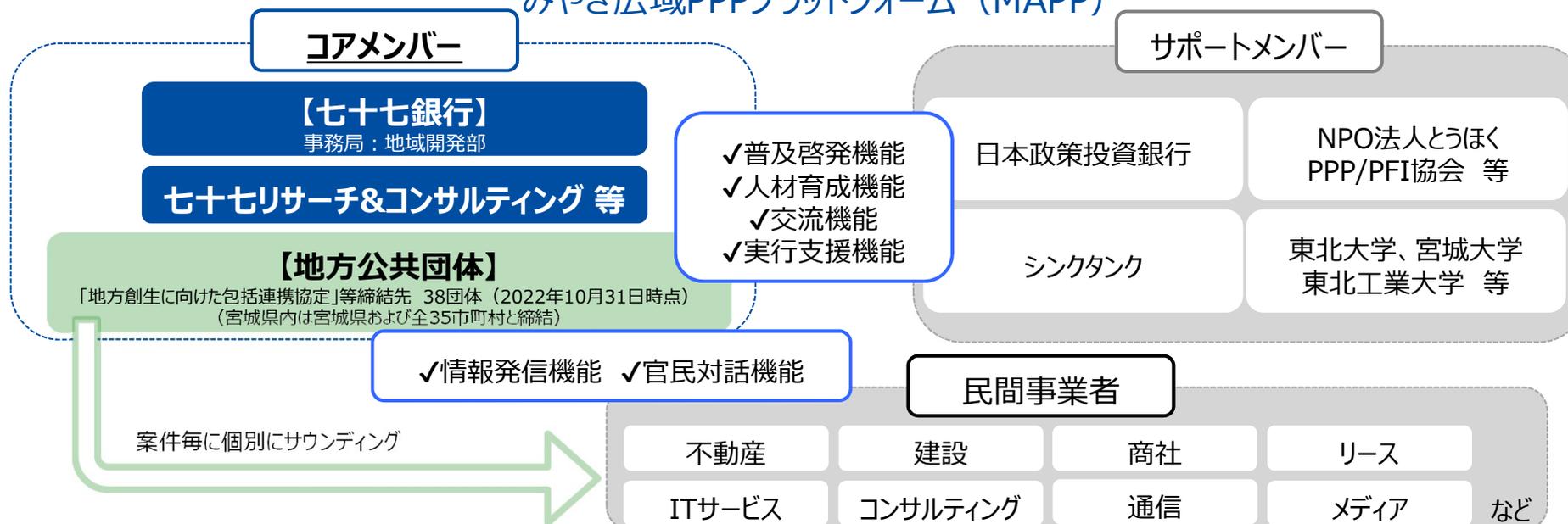
企業文化改革  
戦略

## 地方公共団体との連携

みやぎ広域PPPプラットフォーム（通称：MAPP）（2020年1月設立）の取組み

- 官民連携（PPP）にかかる課題の共有、ノウハウの取得等を通じ、具体的な案件組成を目指す

### みやぎ広域PPPプラットフォーム（MAPP）



2021年度

2022年度

- 2021年度**
  - 主な活動
    - 地方創生マッチングイベントの開催
    - テーマ別勉強会の開催
  - 個別連携
    - 地域開発人材育成プログラム（官民協働ワークショップ）（宮城県）
    - 地方創生テレワーク推進計画への参画（宮城県加美町）
    - ガバメントクラウドファンディングを活用した観光振興支援（宮城県大河原町）
- 2022年度**
  - 主な活動
    - SDGs推進セミナーの開催（2022年5月）
    - テーマ別勉強会の開催（カーボンニュートラル・自治体DX）（2022年8月）
    - 地方創生マッチングイベントの開催（企業版ふるさと納税）（2023年1月予定）
  - 個別連携
    - 地域開発人材育成プログラム（産学官金アイデアソン）

#### チャレンジ精神の醸成

##### 行内コミュニケーションの拡充

- 経営陣等によるコミュニケーションの活性化
- デジタル人材の育成に向けた説明会の開催
- 行員の自律的な成長支援に向けた

1on1ミーティングの試行実施



頭取および担当役員による  
「Vision 2030」説明会実施回数  
: 204回  
(2022年11月末時点)

#### 人材の育成

##### 顧客・地域に役立つ人材の育成

- 行外派遣等の状況 (2022年9月末時点)

分野	派遣者数	主な派遣先
デジタル分野	3人	横浜銀行、FinTech企業等
国際・マーケット分野	9人	日系金融機関海外拠点、日本貿易振興機構、宮城県大連事務所等
ソリューション分野	14人	日系金融機関国内拠点、地域経済活性化支援機構等
地方創生分野	5人	宮城県、東北観光推進機構等
合計	31人	

顧客満足度  
ナンバーワン  
戦略

生産性倍増  
戦略

地域成長  
戦略

企業文化改革  
戦略

##### チャレンジ意欲の浸透

- ジョブエントリー制度の実施
- 本部業務トライアルの実施
- ビジネスコンテストの開催



昨年に続き2度目の開催。  
全役職員から広く新事業・  
新分野のアイデアを募集。

#### ダイバーシティ&インクルージョン意識の浸透

##### 多様な人材の活躍推進

- 中途・外国人の採用(2022年11月1日時点)
  - 外国人在籍者数 3名
  - 中途採用在籍者数 18名
- 女性のキャリア支援に向けた行内セミナーの開催



運用環境変化に対応したポートフォリオ運営

2022年度下半期運用方針

- 運用環境の変化を踏まえた利息配当金収入の増強
- 市場動向とリスクバランスを踏まえた評価益の蓄積・実現化と期間損益の獲得
- ESG投資等を通じたSDGs達成に向けた取組推進
- 外貨調達態勢の強化
- 新たな投資対象・領域の開拓

運用態勢



グループ会社の状況 **グループ会社の当期純利益22億円（2021年度実績）**

注. 七十七パートナーズ、七十七ヒューマンデザインについては実績なし

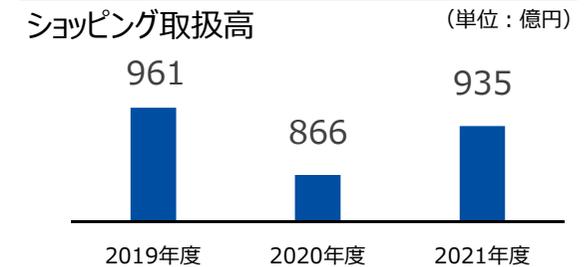
七十七リース



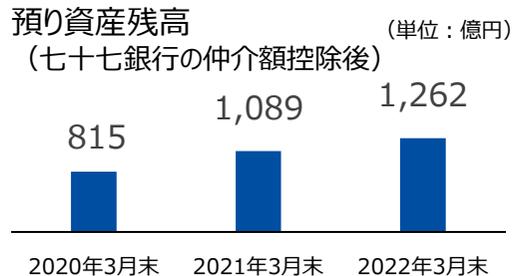
七十七信用保証



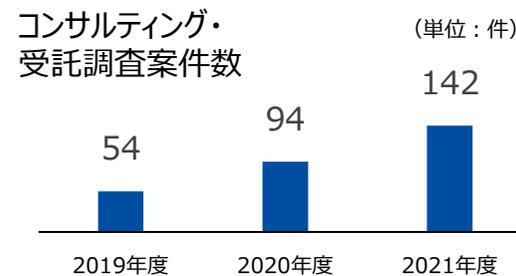
七十七カード



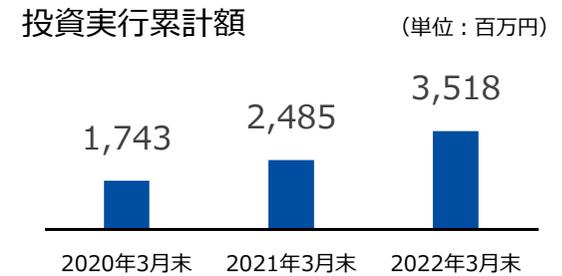
七十七証券



七十リサーチ&コンサルティング

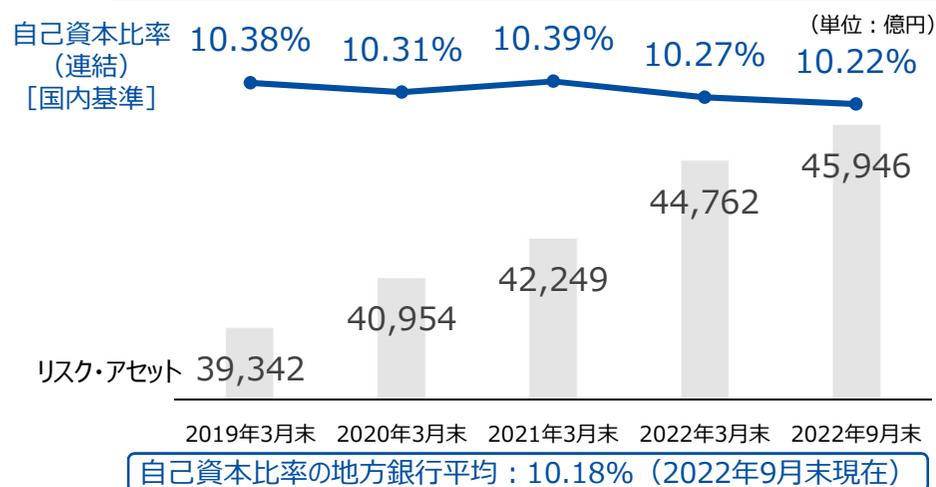


七十七キャピタル

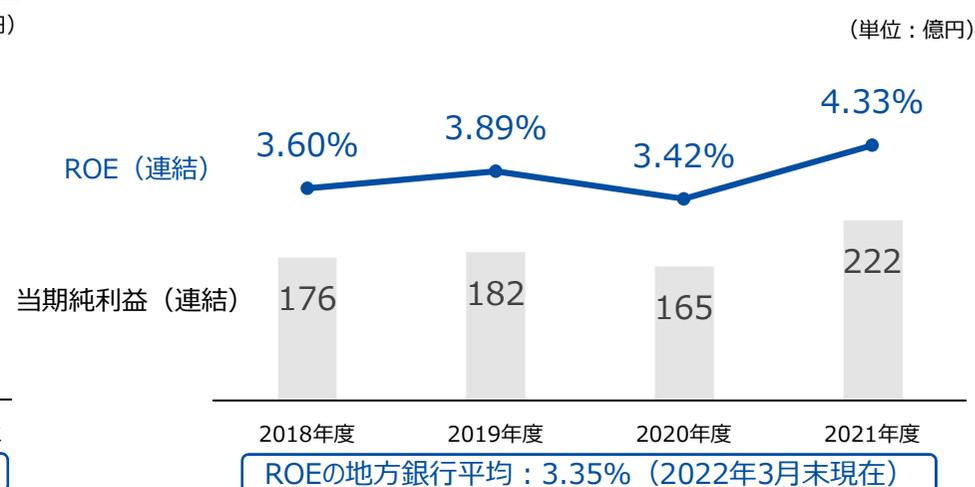


## 財務基盤

### 自己資本比率（連結）・リスクアセットの状況

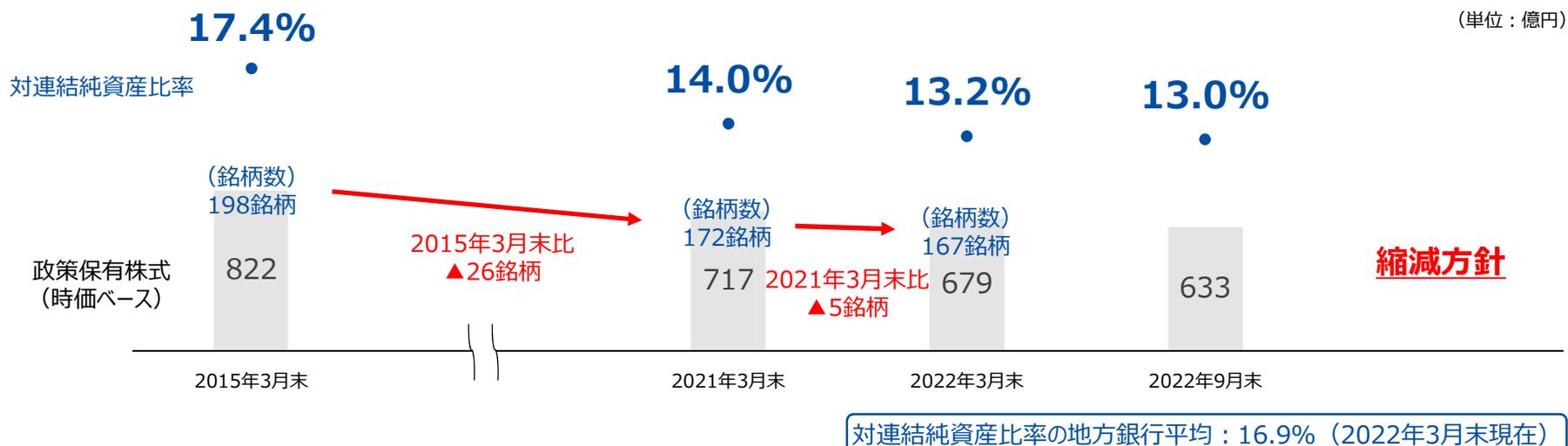


### ROEの推移



## 政策保有株式への対応

### 原則として政策保有株式を縮減する方針



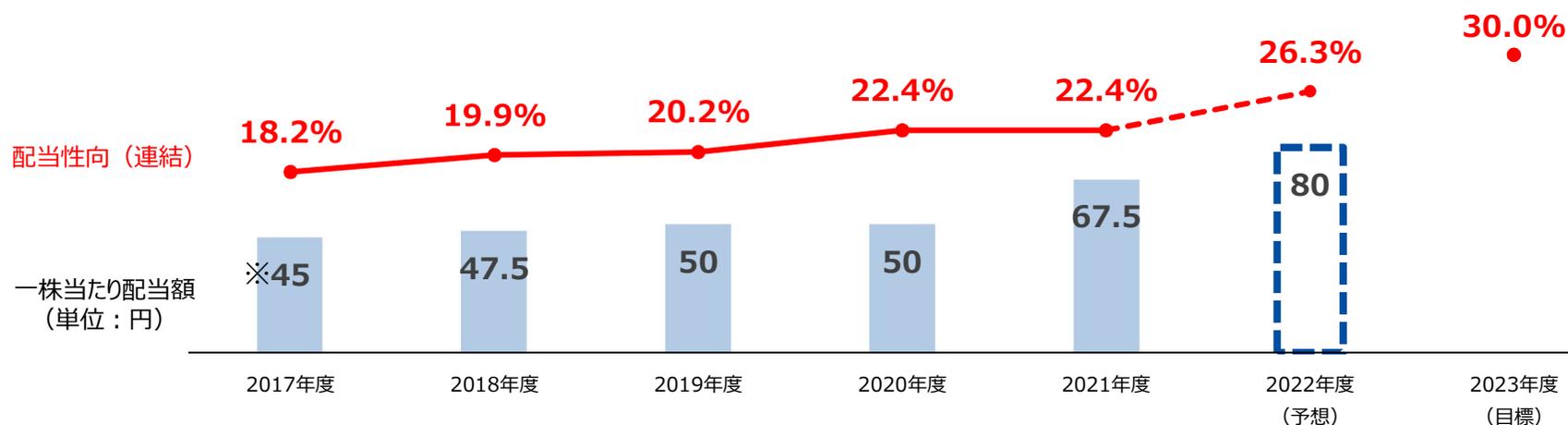
## 株主還元への取組み

### 株主還元方針の策定

2021年4月よりスタートした「Vision 2030」に基づき、顧客満足度向上や生産性改善を通じた強固な財務基盤を構築するとともに、株主の皆さまへの使命として掲げた「七十七グループの成長とリターンの提供」を早期に実現させていく観点から、2022年1月、安定的な配当の継続と具体的な目標を掲げる株主還元方針を策定。

## 株主還元方針

銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、安定的な配当を継続していくことを基本方針とする。また、財務基盤の強化を前提として、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2023年度まで30%を目標に段階的に高めていき、株主利益と資本効率の向上を目指していく。



※2017年10月1日付で5株を1株に株式併合しており、2017年度について、中間配当金を株式併合実施後の株式数をもとに換算すると、1株あたり22円50銭となり、これにより年間配当金は1株当たり45円に相当する

## 株主優待制度の導入

### 株主優待制度の内容

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当行株式を保有していただくとともに、地元特産品や寄付を優待の内容とすることによる地域貢献を目的として、株主優待制度を導入。  
 （地元特産品、寄付金またはギフトカードのいずれかひとつをお選びいただくことができます。）



### 地元特産品「セレクト7」の一例（定禅寺コース）

継続保有株数ごとに当行が厳選した宮城県産品を中心に7つの商品をご用意しております。



継続保有株数	300株以上 1,000株未満	1,000株以上 3,000株未満	3,000株以上
地元特産品（セレクト7）	3,000円相当の商品	5,000円相当の商品	10,000円相当の商品
寄付金	3,000円	5,000円	10,000円
ギフトカード	3,000円	5,000円	10,000円

寄付金：ご賛同をいただいた株主さまの寄付金を、「公益社団法人宮城県緑化推進委員会」に寄付します。

●対象となる株主さま

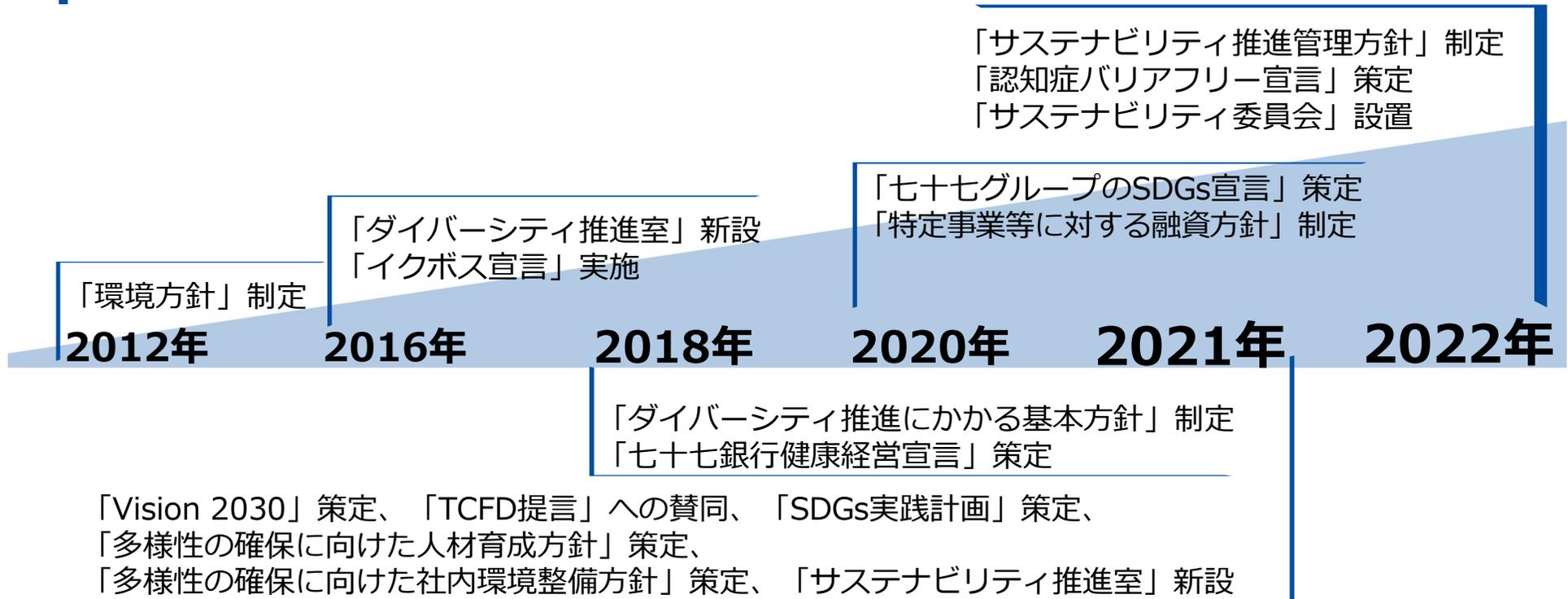
毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当行株式を300株以上保有されている株主さまのうち、継続して1年以上保有(注)されている株主さまを対象といたします。

注、継続保有期間につきましては、毎年3月31日および9月30日の当行株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記録されていることで判定いたします。

04

サステナビリティ

サステナビリティにかかるこれまでの取り組み



七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～

地域経済の活性化

一人ひとりの活躍支援

地球温暖化・気候変動への対応

ガバナンスの高度化

（具現化・取組強化）

- 「SDGs実践計画」の策定
- KPIの設定

サステナビリティの浸透

取引先のサステナビリティ支援

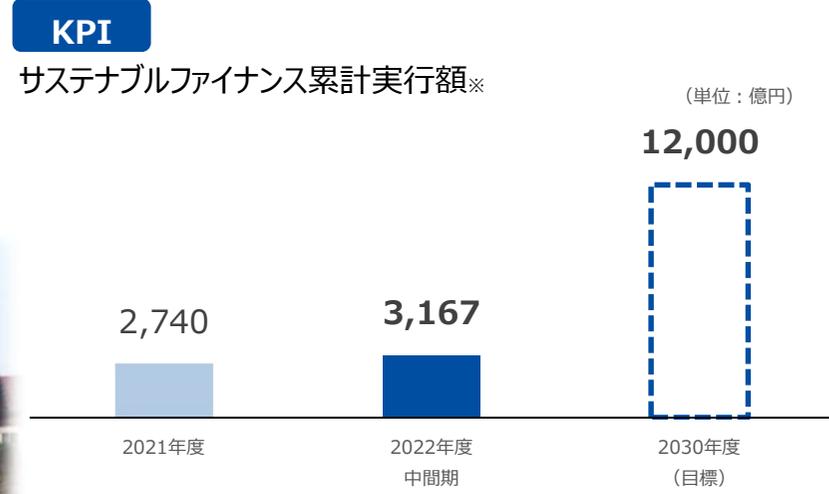
- e-dashとの業務提携（取引先の脱炭素支援）
- MEJAR参加行とのサステナビリティ分野の商品・サービスに関する連携
- SDGs関連商品のラインナップ拡充  
（サステナビリティ・リンク・ローン、ソーシャルローンの取扱開始）



東和蛸雪校舎 提供：学校法人仙台育英学園



北洲ハウジングの住まい 提供：株式会社北洲



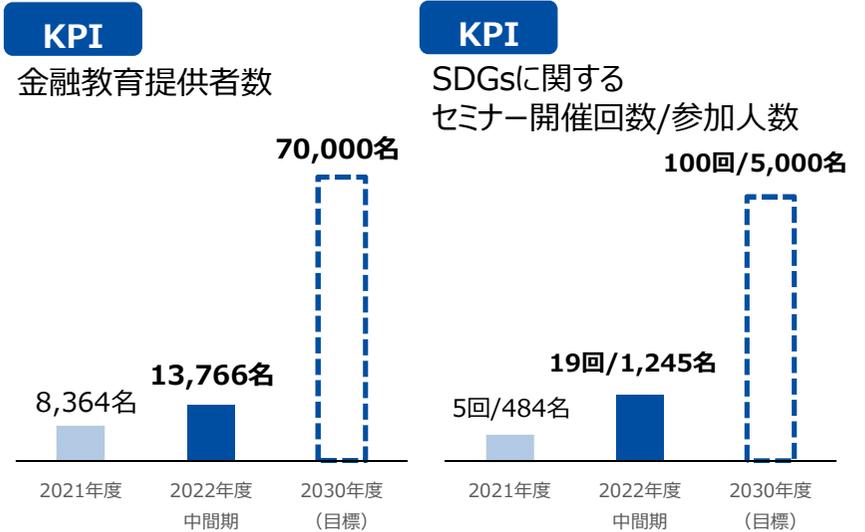
※地域活性化や持続可能な社会の実現に資する投融資の累計実行額  
（環境、医療、創業・事業承継等SDGsへの取組支援・促進にかかる投融資）

金融リテラシー・セミナーへの取組み

- 金融教育の提供（高校生向け金融教育授業の提供 等）
- 地公体とのセミナー協働開催



〈七十七〉SDGsセミナーの様子



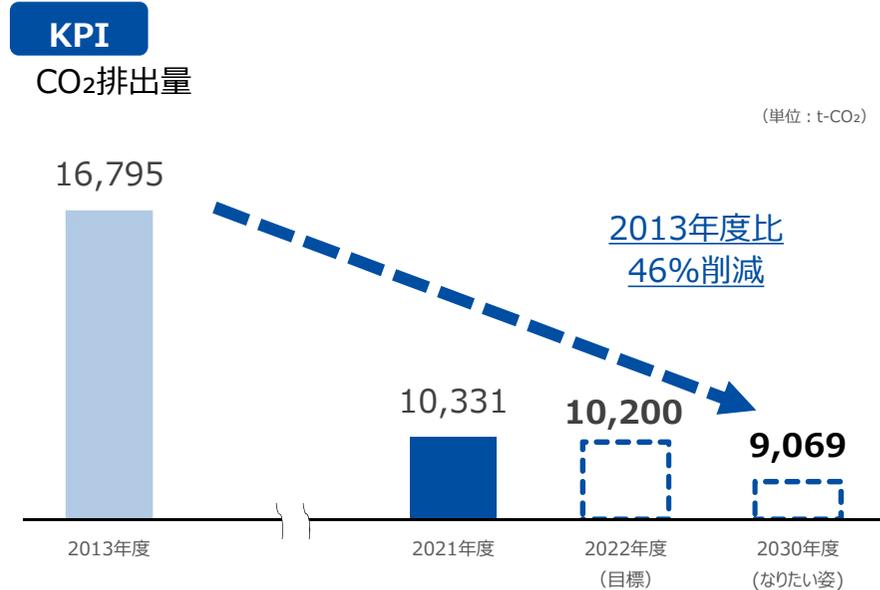
環境問題への対応

環境負荷の軽減

- 店舗内店舗による電力等使用量の削減
- 新設店舗への太陽光発電システム設置



2022年11月に新築した白石支店



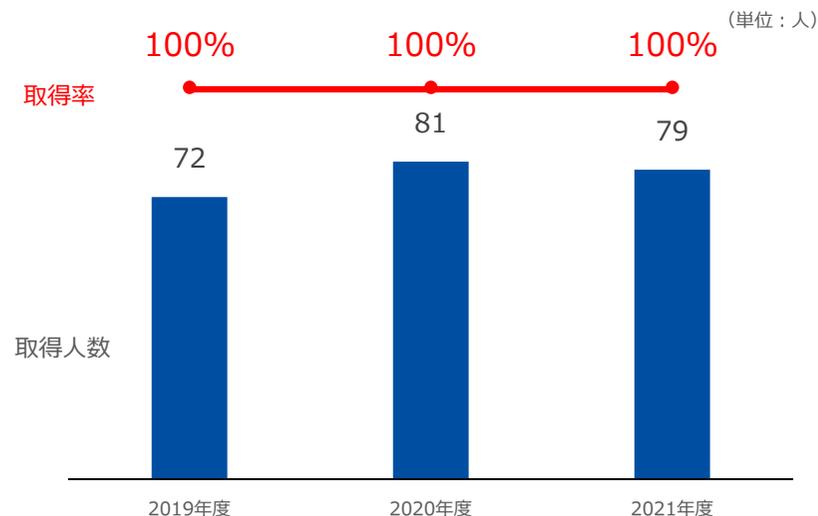
TCFD提言への対応

- ガバナンス | サステナビリティ委員会の設置（2022年7月）
- 戦略 |
  - ◆ 機会：再生可能エネルギー関連融資実行実績：426件／2,023億円
  - ◆ リスクおよびシナリオ分析：物理的リスク、移行リスクを認識し、シナリオ分析を実施のうえ公表
- リスク管理 | リスク管理に関する規定の改正等を通じた態勢整備を実施
- 指標と目標 | Scope3の算出方法等を検討

多様な活躍ができる組織づくりへの取組み

仕事と育児の両立支援

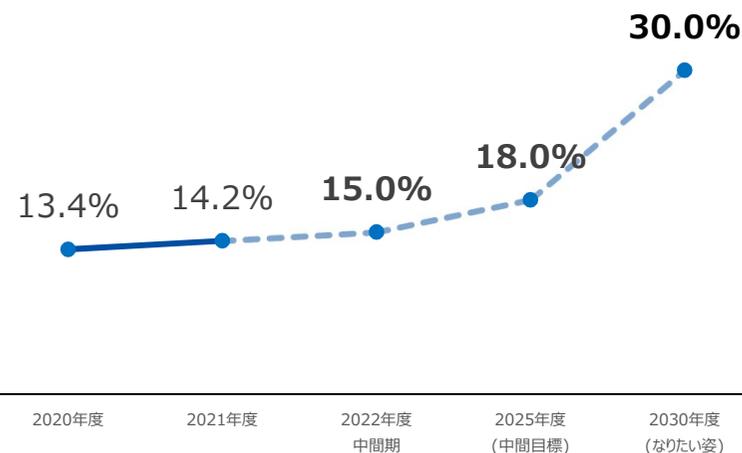
男性の育児休業取得率



女性の活躍推進

KPI

管理職に占める女性の割合



外部評価

女性活躍推進に優れた企業を選定する「MSCI日本株女性活躍指数」の構成銘柄に採用 (2022年6月時点)

2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

※ 株式会社七十七銀行のMSCI指数への組入れ、MSCIロゴ・商標・サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社七十七銀行への後援、保証、販売促進ではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

次世代育成支援対策推進法にもとづく特例認定「プラチナくるみん」



宮城県女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」

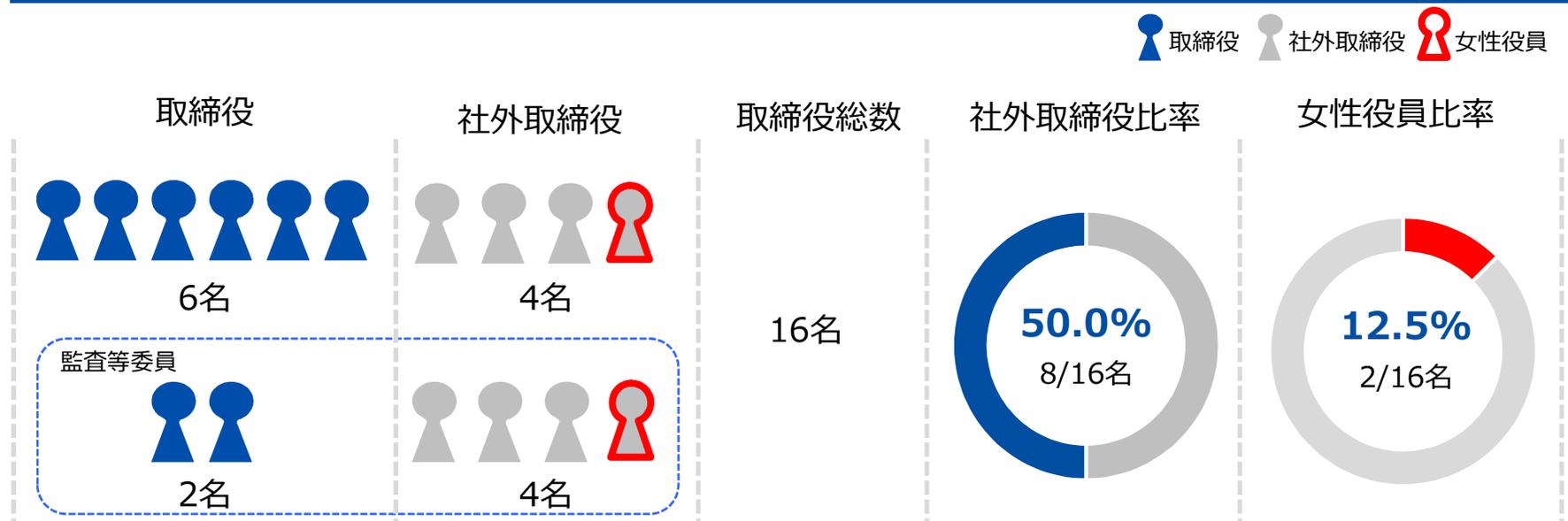


女性活躍推進法にもとづく一般事業主認定「えるぼし (3段階目)」



ガバナンスの拡充・強化へ向けた取組み

取締役会の構成



業務執行にかかる機能の強化・迅速化

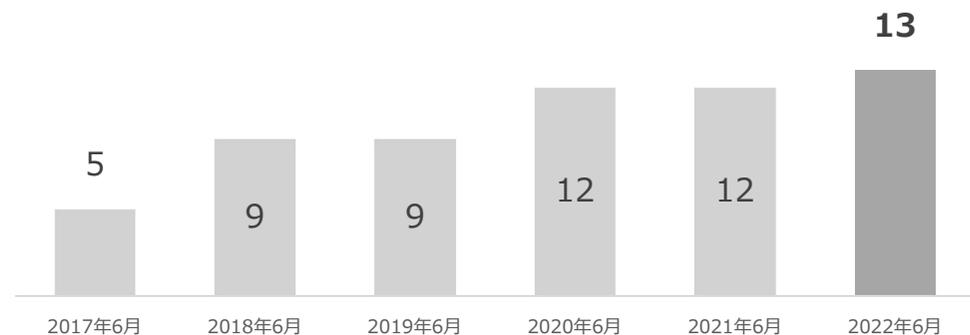
- 執行役員制度の導入（2014年～）
- 「執行役員会」の設置（2021年～）

（執行役員の職務内容）

- 本部部長・母店長・特命事項
- 担当地区の営業推進等

執行役員の推移

（単位：人）



本資料の将来の業績に関わる記述については、  
その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等  
による不確実性を有しておりますのでご留意ください。

本件に関する  
お問い合わせ先

七十七銀行 総合企画部 企画課  
TEL：022-267-1111（代表）  
URL：<https://www.77bank.co.jp/>